

平成22年産麦の検査結果(富山)
(平成23年3月末日現在)

1 検査概況

平成22年産麦の検査数量は7,827トンで対前年同期比78.1%になっています。
普通小粒大麦の1等比率は81.6%で、前年同期比1.9ポイント低くなっています。

(1) 検査数量

(単位:トン、%)

区分	22年産	21年産	対前年同期比
普通小麦	63	65	96.9%
普通小粒大麦	7,523	9,692	77.6%
普通大粒大麦	3	4	75.0%
普通はだか麦			
ビール大麦	8	9	88.9%
種子用麦	230	257	89.5%
合計	7,827	10,027	78.1%

(2) 等級比率

(単位:%)

区分	22年産				21年産			
	1等	2等	等外上	規格外	1等	2等	等外上	規格外
普通小麦	96.0	4.0			98.3	1.7		
普通小粒大麦	81.6	0.8		17.6	83.5	1.6		14.9
普通大粒大麦				100.0				100.0
普通はだか麦								
ビール大麦		100.0				100.0		

2 品種別検査数量及び等級比率

(単位:トン、%)

区分	品種名	検査数量	1等	2等	等外上	規格外	合格
普通小麦	キヌヒメ	38	94.7%	5.3%			
	ゆきちから	25	97.8%	2.2%			
	その他	1	100.0%				
普通小粒大麦	ファイバースノウ	7,523	81.6%	0.8%		17.6%	
普通大粒大麦	その他	3				100.0%	
普通はだか麦							
ビール大麦	その他	8		100.0%			

(注1) 検査数量及び等級比率において、ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合があります。

(注2) 表中の21年産の数字は前年産同期のものです。